



撓まず 屈せず がんばろう 釜石！

# 鵜住居地区

発行：平成27年5月  
発行元：釜石市復興推進本部

## 復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

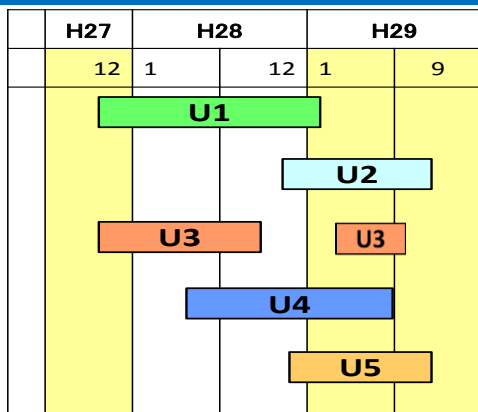
### 復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

鵜住居地区における復興事業のうち、②工事進捗状況及びスケジュール、③宅地整備基準（案）、④現長内橋・歩道橋の取扱い、⑤JR 東日本との協議箇所、⑥復興公営住宅、⑦学校設計の状況、⑧駅前施設整備について、⑨ラグビーワールドカップ 2019 開催に向けた釜石市の取組み状況、⑩にこにこバス、⑪鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。今回は下記の町内会ごとに開催しました。

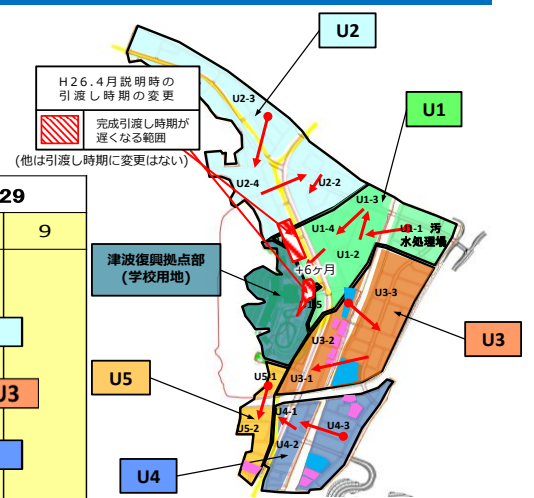
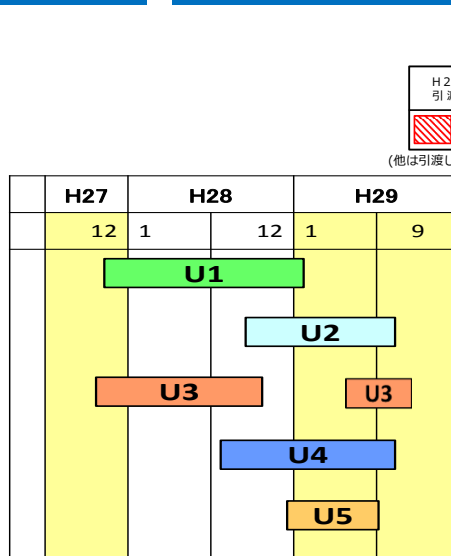
町内会・仮設団地	開催日	時間	会場	参加人数
新神町内会、川目町内会	3月28日（土）	18:00~20:00	UR都市機構事務所	11
上町内会、仲町内会、川原町内会	3月29日（日）	14:00~16:00	長内集会場	34
新川原町内会、日向振興会、日向団地親交会、外山町内会	3月29日（日）	18:00~20:00	長内集会場	37

### 工事進捗状況及びスケジュールについて

#### 宅地引渡し予定（H26年4月説明時）



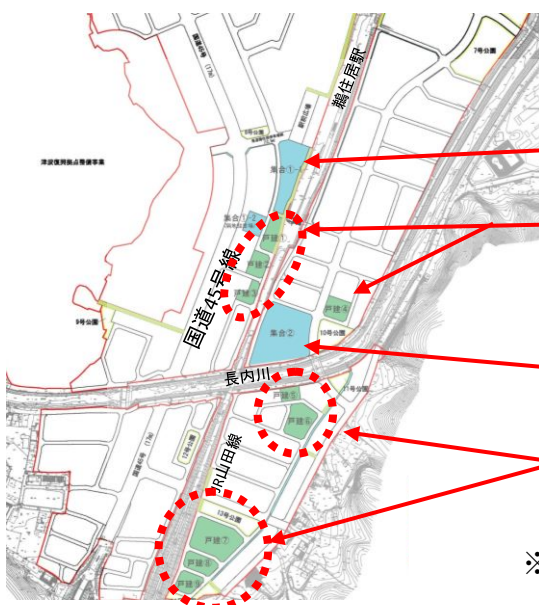
#### 宅地引渡し予定（H27年3月説明時）



※状況に応じて変更することがあります。

【別資料 12 ページ】

### 復興公営住宅について



凡例

- 集合住宅
- 戸建住宅
- 公園

集合①：32戸  
H28.11月完成予定

戸建①～④：15戸  
H28.11月完成予定

集合②：戸数未定  
H29.4月完成予定

戸建⑤～⑨：30戸  
H29.2月完成予定



【別資料 26 ページ】

※現時点での計画であり、今後変更される可能性があります。

## このような意見をいただきました

- 寺前は土石流危険区域だがマサ土で盛土すると危険なのではないか。流れてしまうのではないかと。

寺前は常楽寺山の奥から水が流れてくるのは理解しています。今回は水路、排水機能をしっかり計画しています。大浜渡橋から少し上流に水を抜けさせる管を通し、枝管を適宜配置して、川まで導く計画をしています。土石流については水とは違った話ですが、そこも踏まえて計画しています。

- にこにこバスは、最終的には路線バスに変わるのか、デマンドバスの継続か。引き渡しは平成 29 年までかかるということで、それまで仮設にいる人がたくさんいる。ここまでは安心だと言うまで続けてほしい。

平成 27 年度はデマンドバスとして運行予定です。それ以降は未定です。こちらの地域は現在、路線バスに上乗せしてにこにこバスの運用をしております。将来的に両方を運用していくことはないと思います。

引き続き市民の足の確保ができるよう事業方策を検討していきたいと考えています。28 年度以降はどちらかを確保していくのが基本です。どういう方法でやっていくかはまだわかりませんが、何とか皆さんの足の確保を継続的にしていきたいと思っています。

- ラグビーワールドカップ開催までに復旧・復興、駅前の整備ができるのか。津波伝承施設は初めて聞いたが、交流センターは鶴住居の活性化に繋がると思う。釜石は高速道路から下りて休憩するという視点もある。鶴住居駅前には観光バスの休憩で呼び込むという案もあるのでは。トイレがきれいじゃなければ観光バスは寄らないと聞いているので、気持ちのいいトイレの整備をしたほうがよいと思う。

貴重なご意見ということで今後の参考にさせていただきます。トイレは 200 m<sup>2</sup>前後で、24 時間対応が望ましいと考え、地域交流拠点の中に造るか別棟にするかを検討しています。管理運営は指定管理なのか地域の皆さんにご協力いただくのかをこれからの協議の中で決定していきたいと思っています。

(市長) JR 山田線の件はやっと JR 東日本と岩手県で協定が結ばれ、JR 東日本から三陸鉄道に移管が決定し、三陸鉄道が一体的な運営をすることで話がまとまりました。工事がどこから着工するかは決まっていません。鶴住居は現在誰も住んでいないので、三陸鉄道にとっても利益が上がる仕組みを考えた上で検討していきます。ラグビーは課題が様々ありますが、県や国も協力を提言してくれています。ワールドカップを開催することが皆さんの負担にならないよう、スケジュール管理をきっちりして工事を進めていきます。甲子のほうに産直を造る理由は、無料の高速道路にはパーキングエリアがないので、インターチェンジで下りてトイレに行くこととなります。そのため、側に産直や道の駅が必要になります。釜石にとっていい方向になるよう進めていきたいと思っています。

- 長内川の歩道橋は大事なもの。新しい橋では、今回のような震災があった場合、迂回して避難所に行かなければならない。維持費が掛かるのは分かるが、市で何とかしてもらいたい。普段は水がないが、万が一のことを考えればそちらが大事では。歩道橋には支柱はないはず。破損しても予算でどうにかならないのか。

一番大きな要因は、車道橋の支柱を撤去する際、歩道橋が近い位置にあるため、残しながら撤去するのが困難ということです。復興交付金では、残して整備するという事は難しいです。現在の橋と新しい橋で歩いてどのくらい時間差が出るかという検証をしましたが、差はあまり出ていません。前回は要望を受けて、何とか残せないかと検討しましたが、残せないというのが現実です。非常に苦しい結論ですが、何とかご理解いただきたいです。

復興事業については、できる限りみなさまの期待に応えられるよう進めていきたいと思っています。1 日も早く工事を完成させたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



3/28 UR都市機事務所



3/29 14時～ 長内集会場



3/29 18時～ 長内集会場



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ  
釜石市復興推進本部

TEL : 0193-22-2111(内線 119)  
FAX : 0193-22-9505